

# 関電、青森に事業所

12月開設  
県内2カ所目  
30人を地元雇用

関西電力(本社大阪市)は、集合住宅の管理会社などからの電気契約の申し込み受け付けや登録業務を行う事業所「青森バックオフイスセンター」を青森市新町2丁目に開設するため、30日、県、市、同センターの運営委託会社「フューチャー・コミュニケーションズ」(本社大阪市)と基本協定を結んだ。センターの開設は12月3日の予定。

関電は来月1日、青森市新町に料金収納の顧客データ登録業務を行う「青森ビルングサポートセンター」を開設予定で、バックオフイスセンターは県内2カ所目の事業所となる。



調印を終え握手を交わす(右から)三村知事、岩根社長、床田代表取締役、小野寺市長。30日、青森市

関電によると、マンションやアパートの管理会社やオーナーなどからの電気の使用開始・廃止の申し込み受け付けと登録業務を行う。これまで、関電のグループ会社が運営する「異動受付センター」(大阪市)が行ってきたが、電力の小売り全面自由化を受け、業務が増加して

いることから、青森市に新たに事業所を開設し移管することにした。

フューチャー・コミュニケーションズによると、開設時の従業員数は30人程度で、全員を地元から雇用する方針という。

同日、青森市内で行われた調印式には、関電の岩根茂樹社長、フューチャー・コミュニケーションズの床田宗隆代表取締役、三村申吾知事、小野寺晃彦市長が出席した。岩根社長は「地域振興に貢献できるよう、

引き続き県、市と手を携えて取り組んでいきたい」と述べた。(山内はるみ)